

R4年度認定こども園百華保育園

自己評価結果

1、本園の教育目標

◎活動体験を十分に積み重ねる

- ・子どもが主体的、自発的に考えを決めて遊ぶことができるような環境を整える

◎やさしさ、おもいやりがあり人を大切にする子ども

- ・グループ活動、縦割り活動により、互いに思いやり助け合い、話し合いながら協力して活動する力を育てる

A たいへんよい

B よい

C 一部検討を要する

D 改善を要する

2、評価項目の達成及び取組状況

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか		○			重点目標を全ての職員が共通理解の上で進めてき。 教育・保育目標・まことの保育の読み合わせなどを行い、月1回、再確認を行っている。 今後は、重点目標の読み合わせも行っていきたい。
	(2) 重点目標は、当園や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 重点目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 重点目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			環境構成を意識して、素材や用具の活用を心掛けているが、マンネリ化している部分もある。子どもの発達過程に合わせた興味関心のある玩具、絵本をより一層充実させていく。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○			

	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1 日の流れ(デイリープログラム)は現行でよいか。		○			発達に合わせたプログラムとなっているが、実際の取り組みとズレが生じることもあるので、子どもの姿を大切にしながら進めていきたい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			季節ごとのイベント「～会」「～まつり」など行事を進めているが、それに追われてしまうこともあるので、時間をかけて取り組めるようにしていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか		○			年度始めに、係や仕事分担を行い、それぞれが責任をもって取り組めた。職務の内容についても、協力できる体制を実施した。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		○			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			毎週水曜日を職員会議の日とし、保育の実践、給食等の情報交換や共通理解を図る場となっている。しかし、議題によっては、もう少し密な情報交換や打ち
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			

		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か		○		合わせの進め方も検討していきたい。
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		個々の子どもの実態に合わせた目標や援助について実践している。 乳児・幼児共に情報交換する機会を定期的に設け、お互いの改善点・課題を話し合いより良いチーム保育へとつなげていきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか、		○		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価・諸記録(帳簿類)を集積しているか		○		
	保険・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		毎月1回、多様な災害を想定した避難訓練を実施している。防災・危機管理意識を高めるために、消防士の方を招いたり、年長児は幼年消防にも参加している。 不審者訓練では、警察の方による指導の下、訓練を実施している。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。		○		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
研究・研修	園内研修	(1) 園内研修の計画・運営は適切か。		○		園内外の研修を通して知識並びに技術を高めている。 園内研修での研修報告、保育実践を通して、質の向上につなげている。
		(2) 園内研修、研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	園外研	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか、。	○			

	修	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○		
--	---	----------------------------------	--	---	--	--

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報に適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護方針に基づき、職員は、保守義務を遵守しているが、更なる徹底が必要。重要事項説明書の中で保護者に個人情報の取扱いに関する説明をし、同意書を提出してもらっている。
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか		○			
施設・整備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			施設設備については、毎日の清掃等の時に点検し、安全で衛生的な環境を整えている。遊具については、安全点検を職員が行ったり、園内研修で遊具や用具の見直しを行い、危険箇所の共通理解をしたり、子どもたちが使いやすいように改善した。危険箇所については業者に依頼し、早急に対応するようにしている。
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか		○			
	(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示版、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			監事に年 1 回監査を受け、監査報告をしている。
施設間交流・連携	(1)他施設との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			園児理解については、綿密に小学校と情報交換することができ、就学に向け子どもたちがスムーズに移行することができる環境をつくることができた。職員の情報交換だけではなく、年長児も含め、今後交流していく必要がある。
	(2)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(3)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			

開 か れ た こ ど も 園 づ く り	家 庭 ・ 地 域 社 会 と の 連 携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか、。			○		保護者以外を対象とした参観は、安全面やプライバシー等の観点から、なかなか難しいと考える。以前実施していた高齢者施設の方との交流についても、現状として実施は難しいが、ビデオレターの交換等、感染対策を講じながら、できる交流の在り方を模索し、実践につなげることができた。 地域の方との交流は今後の課題である。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) 乳幼児の興味や関心にもどづいて地域社会・その他の施設と交流している。			○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育て支援を推進する施設として、地域に住む親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定をしているか。		○			個別懇談等を行い、保護者の意見や相談に対応している。 園開放(月2回)、一時預かり事業を実施している。 子どもの発達については、市の保健師や発達相談室と必要に応じて連携を取り、情報交換を行っている。
		(2) 「子育てについて」など、園や地域の保護者を対象とした学習会の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 園だより、クラスだより、HP等で施設の情報を発信している。	○				毎月クラス便り、園だより、給食便り、保健便り等作成し、保護者に配布している。子育て支援の情報等、ホームページで発信したり、ラインで知らせたりした。
		(2) 行事や子育て支援事業を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映している		○			苦情解決体制について、職員全員に周知してあるマニュアルに沿って行われている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映している。			○		

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・重点目標を共通理解し進めてきたが、まだ努力を必要とする部分があるので、取り組むべき課題や自己点検、自己評価を進め、職員会議の中で、重点目標の確認をしていく必要があります。
- ・昨年同様、家庭地域社会との交流が課題となります。特に地域社会との連携が難しい状況ですが、子育て支援(子育てに関するイベント等)を通して、地域の方とのつながりを広げていきたいと考えております。
- ・年齢別、クラス運営について、0・1・2 歳児は担当制の保育を導入し実践しております。更なる、丁寧であたたかい保育を目指してまいります。3・4・5 歳児は主体性を大切に、日々の振り返りと環境の見直しをしっかりと行い、今、子どもたちに何が必要なのか、興味関心から学びにつなげていけるか等、課題や内容を見出し、保育・教育を進めてまいります。

4、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
家庭・地域社会との連携	保護者、地域の方、小学校との連携等を密にし、子ども一人一人と向き合った保育実践を行い、子どもたちの成長に良い影響が与えられるよう、保育・教育を進めていく。
子育て支援の推進	園開放を毎週行い、その中に給食試食会、相談会などを盛り込んでいく。また、他に子育てに関するイベントを計画し、地域の方とのつながりの機会を設けていく。 子育て支援の情報提供のため、インターネットやラインを活用し、支援事業予定を発信していく。